

地域で一番信頼される金融機関をめざして…



当金庫のシンボルマーク



栃木信用金庫

赤は、地平線より昇る真っ赤な太陽を表し、この太陽は明日に向かうことを意味し、また血の通った人間同士のお付き合いをいつまでも続けたいとの願いを込めております。両側のとちしんカラーのオレンジは、地域とそこに生活する人々を表し、地域や人々が暖かな希望に溢れた毎日を送れるようにとの願いが込められております。中央の白は、栃木信金の頭文字の“T”をイニシャルイズしており、この白が清潔潔白に公正に事業を遂行して行こうとの決意の表明であります。

CONTENTS

- | | | | |
|----|------------------------|----|-------------|
| 2 | ごあいさつ | 12 | 商品・サービスのご案内 |
| 3 | 経営理念と基本方針 | 13 | 経営管理態勢 |
| 5 | 業績ハイライト | 15 | 総代会 |
| 8 | 新中期経営計画 お客さまサポートプロジェクト | 16 | 組織図・あゆみ |
| 9 | とちしんの取り組み | 17 | 店舗・ATMのご案内 |
| 10 | 地域社会への貢献 | | |



■資料編等については当金庫ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

ごあいさつ



会員の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、ウッドショック、半導体不足等の仕入コスト上昇、不安定な国際情勢等、地域のお客さまの経営環境にとって大きな変化のあった年でありました。このような状況下、当金庫においては3ヶ年中期経営計画「**ミッション2020**」の最終年度であり、経済的な打撃を受けているお客さまを支える活動に全力で取り組んでまいりました。その結果、特に事業性貸出残高が増加するなど、資金繰り支援を通じてお客さまに貢献するための行動の成果が実績として表れております。

令和3年度の業績につきましては、預金積金は期末残2,787億円（前期比+4億円）、貸出金は期末残1,222億円（前期比+24億円）預貸金とも順調に推移しました。また、経常利益は1億60百万円、当期純利益は1億18百万円、自己資本比率は5.61%となりました。

新型コロナウイルスの影響が長期化し、地域の事業者の皆さま、お客さまを取り巻く環境は先行き不透明な状況が続いております。当金庫としては、地域のお客さまの多様化するニーズに柔軟にお応えするため、新たな3ヶ年の新中期経営計画「**お客さまサポートプロジェクト**」を開始いたしました。時々刻々と変化するお客さまのニーズに適切にお応えできるよう、私たちも変化していかなければなりません。地域社会、お客さまの未来のために、役職員一人ひとりがお客さま、地域のサポート役に徹することで好循環を作り出し、地域社会の持続的な発展に貢献していく所存です。

今後とも引き続きまして、「**とちしん**」へ一層の支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月

理事長 **伏木昌人**

